

2008年9月29日

〇〇党
代表 〇〇 様

水源開発問題全国連絡会
他別紙名簿記載団体

脱ダムを総選挙の公約に！

近々衆議院総選挙がおこなわれるようで、貴政党も準備に大わらわのことに存じます。

私どもは、これまでの河川行政が地域社会と自然を破壊してきたことを反省し、新たなダム・堰・導水路などに依存しない、流域住民に根差した川のあり方を求めるものです。

1997年河川法改正において環境と住民参加の視点が河川法に導入されました。しかしながら、現状は国や都道府県がダム等事業についてその必要性がないことを流域住民から強く指摘されていることを無視して、強権的に推進し、地域の自然と社会の破壊を続ける惨憺たる状況です。

これらの状況を改善することは無駄な公共事業投資にかかる財源を小児化対策、高齢者医療費対策等に振り返ることができます。

私たちはこのような状況を改善するには、政治の力が必要と考え、この選挙において貴党に下記事項を選挙公約として取り込まれることを要請いたします。

記

1. ダム・堰等建設計画の中止

下記ダム・堰・導水路等は全く不要です。直ちに中止して、現地の生活再建に専念することが急がれます。

◇ 国・水資源機構が起業者であるダム等事業

川辺川ダム、八ッ場ダム、山鳥坂ダム、吉野川河口堰可動堰化、淀川ダム群、木曾川水系連絡導水路、設楽ダム、南摩ダム（思川開発）、湯西川ダム、成瀬ダム、平取ダム、サンルダム 等

◇ 都道府県が起業者で、国が補助ダムとして補助するダム等事業

第2雪浦ダム（長崎県）、石木ダム（長崎県）、平瀬ダム（山口県）、内海ダム再開発（香川県）、辰巳ダム（石川県）、浅川ダム（長野県）、太田川ダム（静岡県）、奥胎内ダム（新潟県）、倉淵ダム（群馬県）、増田川ダム（群馬県）、最上小国川ダム（山形県）、当別ダム（北海道）等

2. 河川整備計画策定手続きの改善

- 策定中は生活再建事業以外の事業を新たな段階に進めない。
- 流域住民との合意形成を大前提にする。

現在、河川整備計画の策定は従前の河川管理者の河川整備方針を強引に踏襲

する形で進行し、流域住民の声をまったく聞き入れていません。1997年に河川法を改正した精神と完全に逆行しています。

河川整備計画策定はこれまでの工事实施基本計画を環境と住民参加の面から見直すことが大きな目的ですが、策定中も八ッ場ダム事業など工事が進行しています。これでは河川整備計画策定による見直しのメリットがありません。淀川水系は河川整備計画が策定されるまで、ダム計画の工事は凍結されています。これが当たり前の姿です。

川辺川ダム計画に対して、ダム予定地の相良村・最大受益地とされている人吉市・当該県である熊本県の3首長はそれぞれ異口同音に、「治水で守るべきものは流域住民の生命・財産だけでなく、住民が生活の糧を得てきた清流・球磨川も含まれる」とし、川辺川ダム計画の白紙撤回を国に求めています。この考え方は熊本県民が勝ち取ったものです。川辺川ダム計画白紙撤回は、これから予定される球磨川水系河川整備計画策定時に取り入れられて初めて、現実のこととなります。河川整備計画策定にあたっては、この川に対する考え方、河川と流域住民の関係を最重視する考え方が、その根底になければなりません。

3. 淀川水系流域委員会提言（耐越水堤防）の実現

河川整備で最も重要なことは何か。その答えを出してくれたのが淀川水系流域委員会でした。それをきらって拒否しているのが近畿地方整備局です。

淀川水系流域委員会の提言主旨は

- どんな洪水時でも、人命を損なう致命的な災害になることを防ぐ。
- 人命を損なう致命的な洪水災害は、堤防の破堤が原因になっている。
- 破堤を食い止めるには耐越水堤防が有効。
- ダムによる効果はきわめて少なく、想定外洪水にはかえって危険。
- よって、河川整備の最優先事項はダム建設ではなく、耐越水堤防の整備。というものです。

この提言こそ、治水対策として最優先されるべきです。

連絡先

〒102 0093 東京都千代田区平河町1-7-1-W201

水源開発問題全国連絡会

電話 03-5211-5429

要請団体：別紙

各野党に、衆議院選挙のマニフェストへの記載事項を要請

近々予定される衆議院選挙において、各政党のマニフェストに組み込んでもらいたい事項をまとめて要請書として2008年9月25日に提出

しました。

提出先は、民主党、日本共産党、社民党、国民新党、新党日本です。

要請団体は、9月29日21時に取りまとめて各政党に送付しました。**87団体に達しました。**

要請団体、今も募集中！

間に合わなかった皆さん、現在も募集中です。後日、追加であらためて各政党に送付します。団体名と代表者名を下記あてにお知らせください

(下記アドレスをクリックしてメールを作成し、送信をクリックすると、そのメールソフトの送信フォルダーに保存されます。メールソフトに移行して、送信操作を行うと、送信の完了です)

yakkun@mvd.biglobe.ne.jp

要請書(pdf) ←訂正完了版です。ここをクリックしてください。

要請団体 (080929 19時30分現在) 順不同

おかげさまで87団体に達しています。

この29日19時30分現在の表を、要請団体として各野党に提出しました。

	団体名	肩書	代表者名	都道府県名
1	(社)北海道自然保護協会	会長	佐藤 謙	北海道
2	NPO法人地域学習センターゆーらっぶ	代表	原 久太郎	北海道
3	サンルダム建設を考える集い	代表	渋谷静男	北海道
4	サンル川を守る会	代表	橋本泰子	北海道
5	下川自然を考える会	代表	千葉永二	北海道
6	環境学習塾	代表	石城謙吉	北海道

7	市民森づくりクラブ	代表	櫻見由美子	北海道
8	十勝自然保護協会	会長	安藤御史	北海道
9	当別ダム周辺の環境を考える市民連絡会	代表幹事	安藤加代子	北海道
10	北海道の森と川を語る会	代表	小野有五	北海道
11	北方森林鳥類調査室	代表	望月達也	北海道
12	遊楽部川の自然を守る会	代表	稗田一俊	北海道
13	流域の自然を考えるネットワーク	代表	宮崎 司	北海道
14	Water Watch Network	代表	草島進一	山形県
15	最上小国川の“真の治水”を考える会	代表	押切喜作	山形県
16	茨城県の水問題を考える市民連絡会	共同代表	船津 寛、濱田篤信	茨城県
17	霞ヶ浦導水事業を考える県民会議	共同代表	柏村忠志、濱田篤信	茨城県
18	ハツ場ダムをストップさせる茨城の会	共同代表	近藤欣子、濱田篤信、柏村忠志	茨城県
19	利根川の水と自然を守る取手連絡会	共同代表	近藤欣子、武藤千鶴子、香山建雄	茨城県
20	ダム反対鹿沼市民協議会	会長	広田義一	栃木県
21	ムダなダムをストップさせる栃木の会	事務局長	伊藤武晴	栃木県
22	思川開発事業を考える流域の会	代表	伊藤武晴	栃木県
23	渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会	代表世話人	高松健比古	栃木県
24	STOPハツ場ダム・市民ネット	代表	鈴木郁子	群馬県
25	高崎の水を考える会	代表	高階 ミチ	群馬県
26	市民オンブズマン群馬	代表	小川 賢	群馬県
27	倉淵ダムを考える会	代表	大塚一吉	群馬県
28	増田川ダムを考える会	代表	伊藤国夫	群馬県
29	ハツ場あしたの会	共同代表	野田知佑、大熊孝ほか	群馬県
30	ハツ場ダムをストップさせる群馬の会	事務局長	鈴木 庸	群馬県
31	千葉の干潟を守る会	代表	大浜 清	千葉県
32	千葉県自然保護連合	代表	牛野くみ子	千葉県
33	千葉県野鳥の会	会長	富谷健三	千葉県
34	ハツ場ダムをストップさせる千葉の会	共同代表	村越啓雄、中村春子	千葉県
35	利根川流域市民委員会	共同代表	佐野郷美 嶋津暉之 吉田正人	千葉県
36	水源開発問題全国連絡会	共同代表	嶋津暉之 遠藤保男	東京都
37	多摩川を飲める水にする会	代表	水村節子	東京都
38	多摩の地下水を守る会	代表	坂倉典子	東京都
39	環境まちづくりNPOエコメッセ水・緑・木地昭島店	代表	斉藤規久子	東京都

40	身近な川を見守る会	代表	江刺益子	東京都
41	ハッ場ダムをストップさせる東京の会	代表	深澤洋子	東京都
42	相模川キャンピングインシンポジウム	代表	岡田一慶	神奈川県
43	ふるさとの清津川を守る会	事務局	藤ノ木信子	新潟県
44	奥胎内ダムを考える会	代表	三橋允子	新潟県
45	環境会議・諏訪	会長	塩原 俊	長野県
46	溪流保護ネットワーク・砂防ダムを考える	代表	田口康夫	長野県
47	公共事業と災害を考える会	代表	内山卓郎	長野県
48	空港はいらない静岡県民の会	事務局長	櫻井建男	静岡県
49	太田川ダム研究会	責任者	岡本 尚	静岡県
50	設楽ダムの建設中止を求める会	代表	市野和夫	愛知県
51	設楽ダムを考える名古屋の会	事務局長	宮永正義	愛知県
52	海上の森野鳥の会	代表	宮永正義	愛知県
53	豊川を守る住民連絡会議	代表	渡辺 正	愛知県
54	豊川を勉強する会	会長	松倉源造	愛知県
55	兼六園と辰巳用水を守り、ダム建設を阻止する会	代表	碓山 洋	石川県
56	長良川に徳山ダムの水はいらない市民学習会実行委員会	代表	粕谷志郎	岐阜県
57	徳山ダム建設中止を求める会	代表	上田武夫	岐阜県
58	NPO法人伊賀・水と緑の会	代表理事	森本 博	三重県
59	(社)大阪自然環境保全協会	会長	高田 直俊	大阪府
60	安威川ダム反対市民の会	代表	江菅洋一	大阪府
61	安威川の自然を守るネットワーク	代表	江菅洋一	大阪府
62	関西のダムと水道を考える会	代表	野村東洋夫	大阪府
63	市民のひろば	代表	増田京子	大阪府
64	脱ダムネット関西			大阪府
65	淀川流域のダムを考える大阪府民の会	共同代表	増田京子、神前進一、小林洋一	大阪府
66	環瀬戸内海会議	代表	阿部悦子	岡山県
67	内海ダム再開発事業と国立公園寒霞溪の自然を考える会	代表	楠本イトエ	香川県
68	寒霞溪の自然と共に生きる会	代表	山西克明	香川県
69	寒霞溪の自然を守る連絡会	代表	山西克明	香川県
70	愛媛環境ネットワーク	代表	阿部悦子	愛媛県
71	肱川・水と緑の会	会長	池田亀菊	愛媛県
72	肱川漁協協同組合	組合長	楠崎隆教	愛媛県
73	大洲市の住民投票を実現する会	代表	玉岡正廣	愛媛県
74	長浜漁協協同組合	組合長	中原文男	愛媛県
75	長浜町をまじめに考える会	会長	中野茂明	愛媛県
76	環境共育を考える会	代表世話人	松原 学	福岡県
77	やつしろ川漁師組合	代表	毛利正二	熊本県

78	やまंतरろ・かわंतरろの会	代表	右田いくみ	熊本県
79	球磨川大水害体験者の会	会長	堀尾芳人	熊本県
80	熊本婦人有権者同盟	代表	牛嶋武良子	熊本県
81	子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会	代表	中島 康	熊本県
82	政務調査費を透明にする会	代表	金津紀代	熊本県
83	清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域群市民の会	会長	緒方俊一郎	熊本県
84	川辺川・球磨川を守る漁民有志の会	代表	吉村勝徳	熊本県
85	川辺川利水訴訟原告団	団長	茂吉隆典	熊本県
86	美しい球磨川を守る市民の会	代表	出水 晃	熊本県
87	オフィス未来	代表	小川みさ子	鹿児島県